

令和4年度 担い手確保・育成推進協議会の開催

- 令和4年12月15日(木) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（座長：北陸地方整備局長）を開催。
- 今回3年ぶりとなる対面形式（web併用）による開催として、産官学の構成員44機関のうち41機関が出席。
- 労働局からの管内建設業に係る雇用情勢の説明を始め、協議会各県部会による活動報告や代表事例を紹介。
- また、出席いただいた管内の大学・高専・高校の教授や校長等よりコロナ禍での学生・生徒の意識変化や各校の志望者確保の取り組みについてお話しいただき、終わりに協議会としての取り組み方針を確認した。

協議会構成員（教育機関）からの主な意見等

- ・ 建設業の魅力を感じてもらうためには、現場を見て話しを聞かないと「やりがい」が伝わらない。
- ・ 土木は旧3Kの印象が一般の方には多く残っているようなので、DXを活用したスマートな土木に移行していることを広報すべきである。どのような活動も即効性はなく継続して活動することが重要。
- ・ 各業界には努力していただいているが、建設業の給与面での待遇がネックと考えている学生もあり、地元就職者を増やすためにはこれらの改善が必要である。
- ・ 若者だけでなく、先生や保護者に対して、どのように建設業の魅力を発信すべきかが課題である。



内藤局長（座長）挨拶

■ 取り組み方針

- [方針1]インフラ分野のDX、働き方改革推進による建設業界の新たな魅力向上の発信
- [方針2]建設業界を身近に感じてもらう取り組みの継続
- [方針3]ターゲットに応じた効果的かつ持続可能な取り組みの実施

■ 協議会構成員

【行政】

北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市、新潟労働局、富山労働局、石川労働局

【企業】

日本建設連合協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、日本道路建設業協会北陸支部、北陸地質調査業協会、各県建設業協会、各県測量設計協会

【教育】

各県教育委員会、新潟大学、長岡技科大、富山大学、金沢大学、金沢工大、石川県立大学、長岡高専、石川高専、新潟工業高校、新発田南高校、富山工業高校、小松工業高校、金沢市立工業高校

■ 協議会開催状況(令和4年12月)

※各会場をオンラインでつなぎ開催



新潟会場（北陸地整）



富山会場（富山河国）



石川会場（金沢河国）